

所 属	商工労働部 モノづくり振興課
担当(係)名	モノづくり担当 内線 3097

新商品の開発支援と国内販路の開拓促進

＜緊急雇用創出事業臨時特例基金事業＞

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
54,726	一般財源 54,726	委託料 51,510
(前年度 19,291)		

2 背景・現状

国内市場の縮小、商品の低価格化、流通・販売ルートの変化により、県内企業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

こうした中、中小企業の販路拡大を図っていくには、時代に合った新商品の開発を行うとともに、既存商品のブラッシュアップを行うことが重要である。

3 事業目的

新商品の開発や既存商品のブラッシュアップを支援し、首都圏や今後の市場拡大が期待されるアジアを中心に、県産品の販路を開拓する。

4 事業概要

(1) 新商品の開発支援

- ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を契機とした新たな商品開発支援 (5,519)
 - ・ぎふ清流国体・ぎふ清流大会は、岐阜発モノづくりをアピールする絶好の機会であるため、県内の産地、メーカー、デザイナー等との連携により、県外からの来訪者への「おもてなし」につながるような、機能性やデザイン性に優れた商品の開発を支援

○「GIFUモノづくりネットワーク」による交流支援 (12,271)

＜緊急雇用創出事業臨時特例基金事業＞

- ・消費者の視点に立った商品開発を推進するため、複数の開発企業、デザイナー、販売店等の関係者が集う情報交流の場を定期的に設け、関係者のネットワークを構築するほか、生産者自らが消費者の声や反応を直接得られる企画イベントを開催

※上記事業により、2人の新たな雇用を創出

(2) 国内販路の開拓促進

- メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)との連携 (5,377)
 - ・首都圏における県産品のアンテナショップ機能を担う店舗として、東京ミッドタウンのセレクトショップ「THE COVER NIPPON」に、常設の県産品展示販売コーナーを設置し、県産品のテストマーケティングを実施するほか、有力販路の提供や潜在力のある企業のレベルアップ指導も新たに実施

○首都圏等の百貨店と連携した商品発掘・開発等の実施 (1,330)

- ・百貨店バイヤーによる県内商品の発掘や、百貨店と連携したオリジナル商品の開発を推進するほか、首都圏・名古屋圏等の百貨店における県産品の企画展や県内での地場産品展示会を開催

○観光施設のショーウィンドウ化による地場産品の販路開拓支援 (1,861)

- ・観光客が滞在・利用する県内のホテル、旅館、レストラン等の経営者・物品購入担当を対象に、岐阜県商品の商談交流会及びセミナーを実施
- ・陶磁器、ナイフ等のテーブルウェア、家具等の木工製品といった地場産品について、県内観光施設での利用拡大を促すことにより、販路拡大を図りつつ、本県を訪れ、施設を利用する観光客等に、岐阜県の優れた技術・地場産品をPR

(3) 県内モノづくり産業の情報発信

○GIFUモノづくり首都圏キャンペーン (28,368)

＜緊急雇用創出事業臨時特例基金事業＞

- ・こだわりの消費者が集まる首都圏の集客力の高い施設を舞台に、「メイド・イン・ギフ」にこだわった総合的なキャンペーン「Gifu Week」を展開

- ・販路拡大を目指し、全国の有効小売店バイヤーとの関係構築機会としても活用

※上記事業により、5人の新たな雇用を創出

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) (3) 工鉱業振興費
(明細書事業名)	○デザイン改善指導費	
	商品開発・流通支援事業費	
(款) 5 労働費	(項) 1 労政費	(目) (3) 雇用促進費
(明細書事業名)	○緊急雇用特別対策費	
	委託事業費	